のアルバム

▼6月2日　野洲図書館本館

やすまる広場 2019 開催！

～思いやりの心でみんなでつながろうやすまるの輪～

市民の皆さんの知恵と力を結集した「第 11 回やすまる広場 2019」が野洲図書館本館と健康福祉センター周辺で開催され、約 10,000 人が来場しました。

当日は、市内の市民活動団体や事業所などがこれまで取り組んでこられた活動の発表や展示、市が取り組む事業について市長と気軽に意見交換できる井戸端トーク、マイナンバーカード（個人番号カード）申請受付、体験コーナー、健康関連コーナー、地元農作物の販売、模擬店などが行われ、大人も子どもも楽しめる活気あふれる催しとなりました。

来年もお楽しみに！

バーベキューを通じて交流

障がい者関係団体連絡協議会主催の「バーベキュー大会」が開催され、16 団体 220 人が参加しました。

この催しは、「障がいのある人が多くの人と交流し、人と人とのふれあいを深め、共に助け合って生きる地域社会づくり」を目的に毎年実施。

琵琶湖の風を感じながら、バーベキューでお腹いっぱいになった後は、緑のビーチボールをスイカに見立てたスイカ割りとビンゴ大会を楽しみました。

参加者の皆さんからは、「初めて参加し、とても楽しかった。次回もぜひ参加したい。」「たくさんの人とお話できて良かった。」との声が聞かれました。

▼5月 24 日　ビワコマイアミランド

▼5月 19 日　野洲クリーンセンター

クラフト作りを楽しむ親子

やす環境フェスタ 2019 開催！

「やす環境フェスタ 2019」が野洲クリーンセンターで開催され、約 2,200 人が来場しました。

当日は、「環境にやさしいまちづくり」を身近なことから取り組んでいただくため、３Ｒ「リデュース、リユース、リサイクル」の大切さを楽しく学ぶ体験教室やクイズ、リユース品の無料譲渡などを実施。

フリーマーケットやグラウンドゴルフ、地元特産物の販売、クラフト作りに足湯コーナーもあり、皆さん楽しい時間を過ごしました。

来年も開催予定です。ぜひご参加ください！

歴史の小窓
―学芸員のメッセージ―

178

歴史民俗博物館 ☎587-4410、Fax587-4413

地形図に残された大型前方後円墳「林ノ腰古墳」

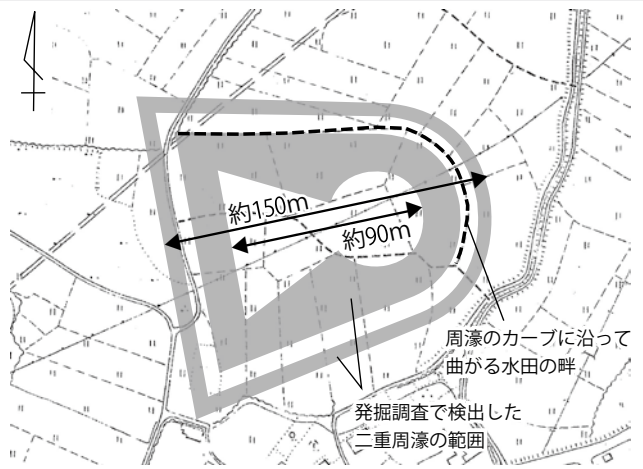
銅鐸博物館では、夏期テーマ展「地図からはじめる考古学―地形図・絵図・地誌と野洲市の遺跡―」を開催します（７月13日㈯～９月29日㈰）。今月から９月にかけての「歴史の小窓」では、展覧会で取り上げる遺跡を紹介していきます。

平成８年に小篠原東部の住宅地で５世紀末～６世紀初頭の大型前方後円墳が発見されました。この「林ノ腰古墳」は、墳丘と濠を含めた全長が約150mあり、築造当時は近江で最大規模の古墳です。通常、古墳には土盛りの墳丘があり、内部には埋葬用の石室がありますが、この古墳には墳丘や石室が全く残っておらず、水田用地を発掘して初めてその存在が明らかになりました。

調査開始から古墳の全体の形がわかるまでには数年かかりました。また、調査後に一帯が開発される以前の昭和30年代の地形図を確認すると、水田の畔の形に前方後円墳の形跡が残されていることもわかりました。これは、後の時代に古墳が水田化していく中で、古墳の濠に沿って水田の畔が作られていったことが原因です。ちなみに、林ノ腰古墳の名称はこの地域の古い地名である「林ノ腰」から名付けましたが、この古墳が「林」という氏族の「古址（古い史跡）」として後世に伝えられていったこともわかりました。

遺跡調査は発掘が中心ですが、開発される前の地形図や古い地名を残す古絵図を丁寧に読み込むことによって、遺跡の存在や全体像がわかるケースもあります。展覧会では、そうした地形図・古絵図・地誌などから遺跡に迫る方法を通じて市内の遺跡を紹介していきたいと思います。

（博物館学芸員　福永清治）



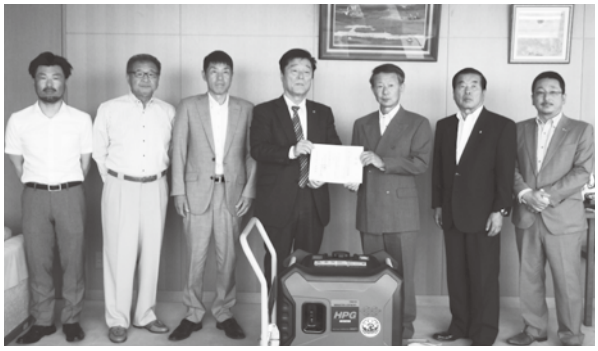
昭和30年代の地形図と林ノ腰古墳

災害時に備えて

本市と「災害時における電気設備の応急復旧の応援に関する協定」を締結している滋賀県電気工事工業組合から、インバータ発電機が寄贈されました。

災害時や訓練等で有効に活用していきます。

▼５月27日　市役所



100歳おめでとう

100歳の誕生日を迎えた東郷はなさん（比江）を山仲市長がお祝いに訪問しました。

大正８年５月19日生まれのはなさんは、これまで田んぼや畑作業に従事し、収穫した作物は美味しくご家族でいただいていたそうです。

この日は、ご家族で祝福され、「祝百歳！おめでとう」の横断幕に感激されていました。

いつまでもお元気で。

▼５月23日　比江